



医療法人社団涼風会 佐藤脳神経外科

デイサービス帆かけ舟

(福山市)

先駆的な取り組み、早期脳活リハビリで



Voice

■診断からケアまで一貫した取り組み

『外来の患者さまには、人工知能(AI)を使った最新のソフトBAAD(バード)を用いた画像診断をしています。アルツハイマー病の進行を早期に予測し、MCIや初期の認知症を見つけ出すことができます。』そう語るのは佐藤透院長。

佐藤院長は早期診断によって、近い将来、MCIや認知症のリスクが高い方々を対象に、物忘れの改善に特化した通所デイサービス“帆かけ舟”で行う「早期脳活リハビリ」を進めておられます。

■「早期脳活リハビリ」で確かな認知機能向上を実感

「早期脳活リハビリ」は、脳活(脳力)だけでなく身体能力(体力)メニューを同時に行い、全人的な機能の向上を図る事を目的にした独自のプログラム。初回にCogEvoの5種バランスチェックで計測し、利用者さまの自主性を尊重した上で、12種類のタスクをCogEvoから選んでトレーニングを実施します。

「早期脳活リハビリ」を取り組む“帆かけ舟”には、比較的介護度の低い(要支援～要介護2)利用者さまが通われています。

『オープン以降、利用者さまの3カ月後の変化をみると71%の方が維持又は改善基調であり、取り組み回数の多い利用者さまほどその傾向が顕著です。今後はADL(日常生活動作)も計測していきますが、早期脳活リハビリの効果が日常生活においても良い影響を及ぼすものと予想しています。』と言語聴覚士の北本浩先生が期待を語られました。

また週3、4回で来られる方全員のCogEvo5種バランスの平均が向上したという結果も出ています。ご家族からは「明るくなった」「言葉が増えた」といった声も聞かれ「早期脳活リハビリ」の効果を実感されています。

担当責任者の佐場英昭先生からは『スタッフもCogEvoによる効果を実感しています。認知特性を把握することで、それぞれの利用者さまに対する理解がより深まったとの感想があがっています。「結果活用の手引き」も利用しています。スタッフもCogEvoをしていて、特にさめがめにハマっている人が増えています(笑)』といったお話を伺えました。どうやらここでもさめがめファンが増加中のようです。

定期的に施設内イベントを開催するなど、地域にも広く「早期脳活リハビリ」の先進的な取り組みを知っていただくため情報発信を行っておられます。

医療法人社団 佐藤脳神経外科

法人情報

福山市永松町で1991年以来、脳神経疾患の専門病院として、最新の医療を実践されています。

『病気を診ると同時に、病気を持つひとりの人間を診たいと思う。いっしょに暮らす家族や仲間、生活環境やその地域にも思いを馳せる。医療法人社団)涼風会グループは、“決して見放さない医療と介護の実践”を通して、みなみなさんと、仲良く付き合っていくと考えています。～涼風会ホームページ 院長挨拶より～』

広島県福山市松永町5-23-23
佐藤脳神経外科3階
電話番号:084-934-9911
<http://ryofukai.jp/neurosurgical/>



株式会社 トータルブレインケア

<https://cog-evo.jp/>